

ニホンジカの誘引技術等に関する研究

【研究のポイント】

ニホンジカ(以下、シカ)の個体数増加や生息域の拡大に伴い造林地や農作物に深刻な被害が発生しているため県では捕獲による個体数削減に力を入れています。そこで、おとり(デコイ)や餌、においなどの誘引物を活用してワナによる捕獲を効率的に行い捕獲実績を上げるための誘引技術を開発しています。



デコイ(シカの模型)

【研究の成果】

1. 誘引効果の確認

九州自然動物公園アフリカンサファリ(宇佐市安心院町)の協力を得て、飼育しているシカを対象にデコイを使った誘引試験を実施しました。夜間、自動撮影できるカメラを使って観察した結果、シカがデコイの周辺に集まってくる様子が確認できました。

また、林業研究部の敷地内に設置したデコイにおいても同様なシカの行動が確認されました。



アフリカンサファリでの実験



林業研究部に出没するシカで実験

2. 捕獲ワナにおける現地実証試験

シカ捕獲目的で設置されたドロップネットやAIゲートに実際にデコイを設置して、誘引効果を実証試験中です。



シカを捕獲するドロップネットの中に設置して実証試験を実施中(国東市)

【専門家の声】

試験に協力いただいている九州自然動物公園アフリカンサファリ 獣医師 神田岳委 先生

- ・シカは臆病だが好奇心旺盛な動物で、デコイに対しどのような反応をするのか興味深い。
- ・今回の結果から一定の誘引効果は期待できると思われる。
- ・当公園における試験がシカ被害で困っている現場での捕獲実績向上につながれば幸いである。



【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 林業研究部 森林チーム
TEL: 0973-23-2146(問い合わせは企画指導担当へ)
住所: 大分県日田市大字有田字佐寺原35